

平成 24 年度第 3 回理事会抄録

日時：平成 24 年 6 月 14 日（木） 13：00～16：00

場所：宮崎県シーガイア コンベンションセンター 2 階 フェニックス

出席：中村（会長）、山根、清水（副会長）、荻原（事務局長）、古川、長尾、岩崎（監事）、香山、小林、佐藤（善）、谷、土井、陣内、山本（常務理事）、宇田、大丸、苅山、北山、坂井、高島、東、藤井、三澤、森（理事）

学会長挨拶

理事勉強会

. 審議事項

1. 今回の総会の事後対応について（中村会長）5 月 26 日に行われた社員総会の議事録を、発言した社員、理事に確認の上、ホームページ及び機関誌に掲載する。 承認
2. 都道府県士会に属さない会員の学会発表について（小林学術部長）社員総会での質問に対する回答として、「都道府県士会に属さない会員の演題発表応募資格を制限する権限は学会長にない」とする。また、「協会員と都道府県士会員との関係を根本から明確に規定するような事前の対応が必要である」という提案に対し、士会と協会で共通認識を持つことが必要との意見が多く出され、具体的に対応していくこととする。 承認
3. 学術誌「作業療法」の契約更新について（小林学術部長）協同医書との契約内容について、日付と「依頼原稿の依頼業務と受領の都保管」を変更する。学術誌の内容について意見が出されたが、内容については別途提案する。 承認
4. 強制退会後の再度入会者と死亡退会について（荻原事務局長）6 月強制退会后、精算し、再入会された方が 4 名。死亡退会 1 名。承認

. 報告事項

1. 事務局報告

- 1) 懇親会について（荻原事務局長）社員総会後の懇親会の目的、形式、参加者、費用等について報告。
- 2) 来年度以降の社員総会の日程と会場について（荻原事務局長）平成 25 年度の定時社員総会の日程を 5 月 25 日土曜日 13 時から 16 時までとする。会場はアクセス、利用料の関係から日本教育会館で行う。今後、基本的に 5 月の最終週の土曜日に開催する。
- 3) 平成 23 年度～平成 24 年度 5 月末の会員動向について（荻原事務局長）平成 23 年 4 月時点の会員数 4 万 1,172 名、24 年 3 月 31 日時点の会員数 4 万 4,958 名、23 年度末の退会処理は 3,074 名で、24 年 4 月 1 日時点の会員数は 4 万 1,884 名。24 年 5 月 31 日現在の

会員数は新規入会者含めて4万3,797名である。子育て世代の退会者が多いことから、休会等の対応が必要との意見が多く出された。

4) 学会事前登録システムの受付状況について(荻原事務局長)5月25日時点での登録者数2,234名。5月31日未入金による削除者数63名。削除後の登録者数2,171名。復活処理対象者17名。キャンセル数5名。6月7日時点での登録確定者数2,183名。

2. 教育部報告

1) リハビリテーション教育評価機構の動向について(陣内教育部長)4月2日に一般社団法人となり、6月9日に社員総会及び理事会が開催され、役員、組織、本年度の事業計画、予算案が審議された。評価・認定の委員会には協会の佐竹氏が委員長として、その任に当たる。

2) 生涯教育制度における中期ビジョン2013および中期計画2013」の中間報告について(藤井理事)生涯教育制度の5年ごとの改定作業の中間報告。

3) 大学院との連携にかかる意向調査の結果について(藤井理事)40大学院に意向調査を行い、27大学院から回答を得た。そのうち19大学院から連携可能という前向きな回答が得られた。具体的に専門作業療法士のカリキュラムに組み込めるか検討していく。

3. チーム医療推進協議会として提出した災害関連要望書について(中村会長)チーム医療推進協議会より6月1日に民主党へ災害関連要望書「今後の大規模災害時支援体制づくりへの要望 東日本大震災での支援活動の経験から」を提出した。

4. 「生活行為向上マネジメント」の位置づけに関する論点について(荻原事務局長)5月19日の理事勉強会の際の議論の内容をまとめた。改善・対応すべき4点については早急に行う必要があり、9月理事会において最終決定をすることが確認された。

5. 渉外活動報告

(高島理事)6月7日心臓リハビリテーション学会、6月11日日本リンパ学会に診療報酬改定の報告をし、お礼と今後の協力依頼を行った。

(香山理事)厚労省より依頼があり、IADLの評価表づくりに参画することとなった。現在、委員を擁立している。被災地支援の一環としての「仮設住宅居住高齢者の生きがい創出プロジェクト」への協力依頼が岩手県より岩手県作業療法士会にあった。岩手県士会より協会に直轄事業としてお願いしたいという依頼があり、岩手県と先週第1回の会議を行った。

(三澤理事)JDDネット単独で要望書を厚労省と文科省に提出した。

6. その他

(荻原事務局長)厚労省から精神疾患の医療体制の構築に関わる指

針が出され、それを受けて各都道府県では医療計画に入っている。
理事、士会の方はその情報を得て、情報交換をしていただきたい。
(中村会長) リハ 10 団体で震災復興のための団体をつくっている
が、継続することが決まり、まず研修会の開催の準備に入る。
(小林学術部長) 学術誌『作業療法』の配信を、メディカルファイ
ンダー、メディカルオンライン、新たにサイニ の 3 か所からする
ことになった。
(山根副会長) 本日午前中に WFOT の Team Japan の第 2 回の合同
会議を開催した。
(佐藤理事) 国際学会の発表の仕方の研修会を 2 ヶ所で行う。

以上